

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1971600240	
法人名	社会福祉法人 八十八会	
事業所名	グループホーム南岳荘	
所在地	山梨県南アルプス市徳永436-1	
自己評価作成日	平成27年11月8日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai gokensaku.jp/19/index.php">http://www.kai gokensaku.jp/19/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	山梨県社会福祉協議会	
所在地	甲府市北新1-2-12	
訪問調査日	平成27年11月17日(火)	

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

特に力を入れている点としては、定期的なボランティアを受け入れた個別ケアへの取り組みです。共同生活の中にあっても、個々に好きなことに挑戦いただき、共に楽しんでいただく。それと、ご本人の行きたい所へ出かけて思い出作りの再現の手助けが出来たらと思ひ、ご家族にもご協力をいただきながら取り組みを続けています。また、出来るだけ体を動かしていただけるよう、日常リハビリ的に、散歩・洗濯物干し・洗濯物たたみ・茶碗拭き等をしていただいたり、春から秋ごろまでは、ホームの表にある菜園で野菜作りや、花の栽培に挑戦しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

事業所は、静かな樹園地帯にある。隣には農の駅「ハッピーパーク」があり、まつり・散歩時等を通じて地域の方との交流の機会が多い。  
事業所の敷地内には、同法人の小規模多機能型支援事業所、特別養護老人ホームがある。医療面、食事面、レクレーション等いろいろな面での連携、協力体制が出来ていて心強い。  
季節の行事の他に、毎週木曜日の選択食事、パンや菓子の販売などがあり、生活に潤いがある。  
1. 出逢いに感謝すること 1. 相手の思いを察すること 1. 五感を活かし、自ら動くこと という三つの事業所理念がある。利用者は、その理念に沿った職員の支援で、毎日を安心して生活している。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

調査シート(自己評価および外部評価結果)

事業所名 ( グループホーム南岳荘 )

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとしての理念を掲げ、管理者は事業所内の会議の席や日常的な会話の中で、理念を含んだ話しをするようにしている。	地域密着型サービスとしての理念を掲げ、管理者は事業所内の会議の席や日常的な会話の中で、理念を含んだ話しをするようにしている。	法人の理念とは別に地域密着型サービスの意義を考えた独自の理念を事業所内に掲示している。職員は、出逢いに感謝し、相手の思いを察知して、五感を活かして自ら動くという理念を念頭に利用者が口に出して言わなくても行動の中からその思いを把握して支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	定期的に来荘下さる地域ボランティアの方が数名、不定期な地域ボランティアの来荘もある。ボランティアを通じて地域交流の機会が増えている。	定期的に来荘下さる地域ボランティアの方が数名、不定期な地域ボランティアの来荘もある。ボランティアを通じて地域交流の機会が増えている。	書道、カラオケ、手芸、大正琴、踊り等地域のボランティアの訪問が頻繁にあり、利用者に声をかけるなど馴染みになっている。道を挟んだ所に「ハッピーパーク」という農の駅があり、散歩に行ったり、さくらんぼ祭りやかきまつりに参加するなどして地域の人たちとの交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生の受け入れを積極的に行い、出来る限り協力をしている。地域に向けては、なかなか発信の場がなく、運営推進会議の席で、地域での勉強会や相談会等がある際、協力ができることがあればさせていただきたいと提案させてもらっている。	実習生の受け入れを積極的に行い、出来る限り協力をしている。地域に向けては、なかなか発信の場がなく、運営推進会議の席で、地域での勉強会や相談会等がある際、協力ができることがあればさせていただきたいと提案させてもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の席で事業所からの報告等に対して委員の皆さんから質問・意見・要望等を伺いサービス向上につなげようとしている。	会議の席で事業所からの報告等に対して委員の皆さんから質問・意見・要望等を伺いサービス向上につなげようとしている。	2か月に1回、奇数月の第3火曜日の夜に開催している。委員が出席しやすい様に夏季と冬季の開催時間をずらしている。会議には、市の職員、2地区の自治会長や民生委員の参加もあり、事業所の理解を深めてもらっている。委員の意見を参考にして事業所のサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	サービスについての疑問や判断に困ってしまう事柄が発生した際には、市の担当者に相談しアドバイスをいただくようになっている。	サービスについての疑問や判断に困ってしまう事柄が発生した際には、市の担当者に相談しアドバイスをいただくようになっている。	市役所に向く事は頻繁ではないが、運営推進会議のメンバーとしての関わりが長く続いていて、担当者からは事業所の意見を求められたり、事業所の問題解決に向けて相談するなど協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に一度、荘内研修を行っている。職員は利用者様が、さまざまな拘束により不快な思いをすることがないようなケアに取り組んでいる。ご家族には、契約時に身体拘束を行わないことを伝え、それに伴うリスクの説明をしている。	年に一度、荘内研修を行っている。職員は利用者様が、さまざまな拘束により不快な思いをすることがないようなケアに取り組んでいる。ご家族には、契約時に身体拘束を行わないことを伝え、それに伴うリスクの説明をしている。	身体拘束については、ここまでという様な線引は難しいが、利用者の命に危険がない以外は、本人の嫌がる事や行動を制止する事はしないという基本姿勢で支援している。スピーチロックについては、職員が互いに注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で勉強する機会を持っている。管理者は職員の心身の様子に注意を払い、疲労やストレスによる虐待につながらないように気をつけている。また、衣服の着脱時や入浴時等に、利用者様の身体の状態を見直し、異常等がないか確認している。	内部研修で勉強する機会を持っている。管理者は職員の心身の様子に注意を払い、疲労やストレスによる虐待につながらないように気をつけている。また、衣服の着脱時や入浴時等に、利用者様の身体の状態を見直し、異常等がないか確認している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修受講者は、現在管理者のみです。昨今、研修会の機会が増えてきているが、なかなか参加することが出来ない。	研修受講者は、現在管理者のみです。昨今、研修会の機会が増えてきているが、なかなか参加することが出来ない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の前に、ご本人・ご家族と話し合いの時間を持ち説明をしています。書類等にも十分目を通していただく時間的余裕を持ち、不安や疑問点にお答えしたうえで契約していただいています。	契約の前に、ご本人・ご家族と話し合いの時間を持ち説明をしています。書類等にも十分目を通していただく時間的余裕を持ち、不安や疑問点にお答えしたうえで契約していただいています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様に対しては、日頃の生活の様子の変化等に出来るだけ早く気づくよう心がけ、声かけし意見や要望等を話していただけるよう努めています。ご家族に対しては、面会時や電話で話をする際に、気軽に話していただけるような雰囲気作りを心がけています。	利用者様に対しては、日頃の生活の様子の変化等に出来るだけ早く気づくよう心がけ、声かけし意見や要望等を話していただけるよう努めています。ご家族に対しては、面会時や電話で話をする際に、気軽に話していただけるような雰囲気作りを心がけています。	毎月家族に発送している南岳荘グループホーム便りには、行事や利用者の状況を伝えると共に、「意見や要望を遠慮なく申し付け下さい」という言葉を添えている。また、面会時にも、家族に声をかけたり、家族から気軽に声をかけてもらっているが、運営に関する様々な意見や要望は今のところない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度スタッフ会議を行っており、その席上で各職員から意見等を聞くようしています。提案や要望に対し、速やかに対処出来る事柄から実現するよう努めている。	月に一度スタッフ会議を行っており、その席上で各職員から意見等を聞くようしています。提案や要望に対し、速やかに対処出来る事柄から実現するよう努めている。	会議時や日常業務の中でも意見を聞いている。夜勤者とは、夜勤日誌の報告時に会話の機会を作っている。修理や備品の購入については、書面で提出出来る。勤務の交代は、基本的には本人が調整しリーダーに報告する様にしている。希望の休みの申し込みも可能である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、出来るだけ職員の仕事ぶりを把握する努力をしている。職員には長く勤めてもらいたい、利用者さまと馴染みの関係を築いてもらいたいと願っています。少しでも働きやすい職場になるよう環境作りに努めています。	管理者は、出来るだけ職員の仕事ぶりを把握する努力をしている。職員には長く勤めてもらいたい、利用者さまと馴染みの関係を築いてもらいたいと願っています。少しでも働きやすい職場になるよう環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部で行なわれる研修に、積極的に参加できるように努めています。また資格取得を職員が目指せるよう、取得を勧めたり、情報等の発信を行なっている。	外部・内部で行なわれる研修に、積極的に参加できるように努めています。また資格取得を職員が目指せるよう、取得を勧めたり、情報等の発信を行なっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山梨県グループホーム協会の研修会に参加し、県内のグループホームの職員さんと交流する機会を設けている。	山梨県グループホーム協会の研修会に参加し、県内のグループホームの職員さんと交流する機会を設けている。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望があった際は、事前に自宅等へ訪問し、ご本人と面談をさせていただいている。現在の生活の様子や今までの生活層等を伺い、スムーズに入居につながるよう努めています。	入居希望があった際は、事前に自宅等へ訪問し、ご本人と面談をさせていただいている。現在の生活の様子や今までの生活層等を伺い、スムーズに入居につながるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族がどのような経緯でサービスを利用されようと思ったのか、また、どのようなサービスを望まれているのかをお伺いします。ホーム側からは、どのようなサービスを提供できるのかを説明し、安心してサービスを受けいただけるよう努めています。	ご家族がどのような経緯でサービスを利用されようと思ったのか、また、どのようなサービスを望まれているのかをお伺いします。ホーム側からは、どのようなサービスを提供できるのかを説明し、安心してサービスを受けいただけるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にいただいた情報から、必要なサービスの導入を試みます。状況等をご本人・ご家族に相談・確認しながら、ご希望に添える支援をできるだけ柔軟に行えるよう努めています。	事前にいただいた情報から、必要なサービスの導入を試みます。状況等をご本人・ご家族に相談・確認しながら、ご希望に添える支援をできるだけ柔軟に行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする同士の関係を築いている	利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様と対等の立場に立ってサービスを行うとの運営方針の下、ご本人の思いや、喜び、苦しみ、不安等を分かち合い、日々の暮らしの中で支え合う関係作りに努めています。	利用者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様と対等の立場に立ってサービスを行うとの運営方針の下、ご本人の思いや、喜び、苦しみ、不安等を分かち合い、日々の暮らしの中で支え合う関係作りに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた際には、利用者様の日ごろの生活の様子をお伝えし、ご家族の思いと、職員の思いが共有できるよう努めています。また、利用者様にとってご家族の存在は何者にも変えることができない大切なものであることを折にふれお話ししています。	ご家族が面会に来られた際には、利用者様の日ごろの生活の様子をお伝えし、ご家族の思いと、職員の思いが共有できるよう努めています。また、利用者様にとってご家族の存在は何者にも変えることができない大切なものであることを折にふれお話ししています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族対応での定期受診の帰りに、お気に入りの場所でお食事や買い物に行かれたり、お友達が、お部屋に訪ねて来てくださる利用者様もいらっしゃいます。	ご家族と一緒に外出に出れたり、ご自宅に外泊をされたりしている利用者様が数名おられます。また、お友達が お部屋に訪ねて来てくださる利用者様もいらっしゃいます。	近くの農の駅にて地域の人と触れ合う機会があり、地域住民との関係継続ができるよう心がけている。彼岸やお盆には墓参りに家族と出かける利用者もいる。また、地域の方が面会に来たり、家族と外出、外食する等今までの人間関係が継続出来るような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が楽しく会話や活動を行うことができるように働きかけ、場をセッティングしている。また、個別にお話や相談ごとをお聞きする時間を取り、トラブルが生じないように関わっています。	利用者様同士が楽しく会話や活動を行うことができるように働きかけ、場をセッティングしている。また、個別にお話や相談ごとをお聞きする時間を取り、トラブルが生じないように関わっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族には契約が終了した後でも、何か力になれることがあれば相談していただけることをお伝えしています。	ご家族には契約が終了した後でも、何か力になれることがあれば相談していただけることをお伝えしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中で利用者様の思いや意向を把握しながら支援している。意思疎通が困難な方には、日々の情報やご本人の言葉や表情から推察したり、ご家族に相談したりと、可能な限り本人の本意に近づけるよう努力している。	日々のケアの中で利用者様の思いや意向を把握しながら支援している。意思疎通が困難な方には、日々の情報やご本人の言葉や表情から推察したり、ご家族に相談したりと、可能な限り本人の本意に近づけるよう努力している。	利用者の思いは、ストレートに出ないで違う形で表れる場合もある為、日常的な関わりの中で察知する事が大切と考えている。また、家族の話から情報を得て記録に残し、個々の利用者の思いは、職員全体が共有出来る様にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人のライフスタイル・個性や価値観等を尊重し、穏やかに居心地の良い暮らしが出来るよう、入居する前の暮らし等を面談時のアセスメント等で確認し、職員が情報の共有をしている。	本人のライフスタイル・個性や価値観等を尊重し、穏やかに居心地の良い暮らしが出来るよう、入居する前の暮らし等を面談時のアセスメント等で確認し、職員が情報の共有をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活状況を個々のケア記録に残し、職員全員が把握、確認ができる様にしている。特に体調の変化・心理面・精神面の変化に注意し、現状の共有を図っている。	日々の生活状況を個々のケア記録に残し、職員全員が把握、確認ができる様にしている。特に体調の変化・心理面・精神面の変化に注意し、現状の共有を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で思いや意志を聞き、介護計画の中に反映するようにしています。職員と定期的にかンファレンスの時間を設けてアセスメントを行い、現状に近い介護計画を作成している。	ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で思いや意志を聞き、介護計画の中に反映するようにしています。職員と定期的にかンファレンスの時間を設けてアセスメントを行い、現状に近い介護計画を作成している。	入居時は、本人の状況と医師の診断書を参考に、本人、家族の意向を聞きながら、新しい生活になじめるような介護計画書を作成している。その後は、担当職員の意見を聞きモニタリングし定期的に更新するが、入退院等の大きな変化が起きた時にはタイムリーに計画の見直しをする。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事・水分量・排せつ等のチェックシートを使用し、日々の健康状態を把握しています。利用者様の変化や職員の気付いたことは、個々の記録に残し、スタッフ会議の場でケアの見直し等の検討をしている。	食事・水分量・排せつ等のチェックシートを使用し、日々の健康状態を把握しています。利用者様の変化や職員の気付いたことは、個々の記録に残し、スタッフ会議の場でケアの見直し等の検討をしている。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期受診の送迎などは原則ご家族対応となっているが、緊急時やご家族の都合が悪い時はホーム内で対応している。また、福祉車両の貸し出しもしている。	定期受診の送迎などは原則ご家族対応となっているが、緊急時やご家族の都合が悪い時はホーム内で対応している。また、福祉車両の貸し出しもしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流の一環として、ボランティアの受け入れを積極的に行っています。書道・手芸・カラオケボランティアを月に1回実施し、利用者様に楽しみながら、書くこと・物作りに挑戦してもらっています。	地域との交流の一環として、ボランティアの受け入れを積極的に行っています。書道・手芸・カラオケボランティアを月に1回実施し、利用者様に楽しみながら、書くこと・物作りに挑戦してもらっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族が信頼している医師にお願いしている。受診の際、医師に伝えたい情報を、ご家族にメモ等でお渡ししたり、職員が同行して伝えたりしている。歯科については、希望により訪問診療を受けることも出来るようにしている。	ご本人やご家族が信頼している医師にお願いしている。受診の際、医師に伝えたい情報を、ご家族にメモ等でお渡ししたり、職員が同行して伝えたりしている。歯科については、希望により訪問診療を受けることも出来るようにしている。	入居前からのかかりつけ医が決まっていない利用者は、併設の特別養護老人ホームの嘱託医の回診が月1回あり、かかりつけ医としている。それ以外にも状態によっては随時協力医の受診も可能である。歯科の訪問診療の他にも希望者は、訪問マッサージを受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師・介護職員は、利用者様の観察・健康チェック表・排泄チェック表等により、利用者様の日々の体調変化などを見逃さないよう早期発見に努めています。また、緊急時には、看護師が24時間対応出来る体勢をとっています。	看護師・介護職員は、利用者様の観察・健康チェック表・排泄チェック表等により、利用者様の日々の体調変化などを見逃さないよう早期発見に努めています。また、緊急時には、看護師が24時間対応出来る体勢をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は利用者様の看護サマリーを提出し、情報を伝達している。また、お見舞いなどで経過の様子を知るようにしている。退院時は医療機関とカンファレンスを行い情報を職員で共有している。	入院時は利用者様の看護サマリーを提出し情報を伝達している。また、お見舞いやご家族から経過の様子を知るようにしている。退院時は医療機関とカンファレンスを行い情報を職員で共有している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族からの相談も増えてきていますが、ホーム内の方針がまだ十分に打ち出せていない状況です。今年度から看護師の配置があり、ご家族の相談にも一歩進んだお話が出来るよう取り組みたいと思っています。カンファレンスの際には、ご家族の気持ちを確認するように努めています。	ご家族からの相談も増えてきていますが、ホーム内の方針がまだ十分に打ち出せていない状況です。今年度から看護師の配置があり、ご家族の相談にも一歩進んだお話が出来るよう取り組みたいと思っています。カンファレンスの際には、ご家族の気持ちを確認するように努めています。	継続的に医療行為が必要になった場合以外は、事業所での対応が可能である。身体的に重度になっても、中間浴槽を使って入浴することが出来る。緊急時の対応については、入居時に家族と話し合っているが、変化があった時にはその都度意向を聞いて相談している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応については、落ち着いて行動ができるようマニュアルを準備してある。原則マニュアルに沿って対応することになっている。定期的な訓練の時実施という点は不十分な状況です。	緊急時の対応については、落ち着いて行動ができるようマニュアルを準備してある。原則マニュアルに沿って対応することになっている。定期的な訓練の時実施という点は不十分な状況です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作成、消防署の協力のもと日中、夜間を想定した火災に対する避難訓練を年2回、また、南岳荘独自で地震想定・水害想定避難訓練を年に数回、また、職員の緊急時伝達訓練を概ね月1回実施中。	災害マニュアルを作成、消防署の協力のもと日中、夜間を想定した火災に対する避難訓練を年2回、また、南岳荘独自で地震想定・水害想定避難訓練を年に数回、また、職員の緊急時伝達訓練を概ね月1回実施中。	事業所は、1階にあり玄関の外は広く駐車場へと避難が容易。各居室の入り口には、利用者の移動方法が書かれ、袋に防災ずきんを入れて吊るしてあり、いざという時の備えになっている。夜間を想定した避難訓練は、実際に夜動に当たる職員2名で行い避難誘導が出来るよう身につけている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の生活層等を把握しうでの話題や言葉掛けを心掛け、親しい関係が慣れにならないよう注意を図っている。また、職員の言葉掛けにより、利用者様が不快な気持ちになることのないよう気をつけている。	お一人お一人の生活層等を把握しうでの話題や言葉掛けを心掛け、親しい関係が慣れにならないよう注意を図っている。また、職員の言葉掛けにより、利用者様が不快な気持ちになることのないよう気をつけている。	興味のある事、好きな事を提供していく中で馴染みの関係を作り、利用者様の気持ちを傷つけない様になっている。また、個々の利用者さんに合った言葉かけをしている。排泄の見守り時も本人が苦痛に思わないか気をつけている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	パン販売・お菓子販売日には、出店先に出向き、自分の好きな物を選んでお買い物ができる機会を設けている。又、週一度の選択食のメニューを決めてもらっている。	パン販売・お菓子販売日には、出店先に出向き、自分の好きな物を選んでお買い物ができる機会を設けている。又、週一度の選択食のメニューを決めてもらっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、個室ならではのライフスタイルを尊重しています。お気に入りの本を居室や居間で読まれたり、食事の準備をされたり、日中お気に入りの場所ですつろがれたりしている方もいます。	基本的な一日の流れはありますが、個室ならではのライフスタイルを尊重しています。お気に入りの本を居室や居間で読まれたり、食事の準備をされたり、日中お気に入りの場所ですつろがれたりしている方もいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の身支度は、意思表示をして下さる方が少なく、職員がかかわりながら選んでいます。各種イベントの日には、特におしゃれの装いで参加していただけるよう支援しています。	日々の身支度は、意思表示をして下さる方が少なく、職員がかかわりながら選んでいます。各種イベントの日には、特におしゃれの装いで参加していただけるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	原則、食事は事業所内の厨房で準備している。ご飯と味噌汁はホームで準備し、盛り付け、配膳、下膳等を複数の利用者様が職員と一緒にしています。メニューに苦手な物がある場合は、違う物に変えたり、週に一度の選択食では好みの食事を選んでもらっています。また、体調に合わせて、食事の形態や療養食等、柔軟に対応できるようにしています。	原則、食事は事業所内の厨房で準備している。ご飯と味噌汁はホームで準備し、盛り付け、配膳、下膳等を複数の利用者様が職員と一緒にしています。メニューに苦手な物がある場合は、違う物に変えたり、週に一度の選択食では好みの食事を選んでもらっています。また、体調に合わせて、食事の形態や療養食等、柔軟に対応できるようにしています。	併設事業所と合同の給食委員会があり、利用者の意見、献立、味付け、色合い、残菜等について話合っている。管理栄養士が献立表を作成している。また、利用者に応じた心臓食やカロリー制限食等の提供もしている。女性と共に男性利用者も、食事の盛り付けやテーブル拭きを手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事・水分の摂取量や残量を記録に残し、職員間で情報を共有している。食事量の少ない方には補食を、水分量が摂れていない方にはご家族の了承を得て、ジュース類や水分ゼリー等で補うようにしています。必要な方には、療養食も提供している。	個々の食事・水分の摂取量や残量を記録に残し、職員間で情報を共有している。食事量の少ない方には補食を、水分量が摂れていない方にはご家族の了承を得て、ジュース類や水分ゼリー等で補うようにしています。必要な方には、療養食も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方には声掛け、見守りで最後に職員が一部介助で仕上げを行わせていただいている。義歯の方には就寝前に洗浄剤を使用させていただいている。	ご自分で出来る方には声掛け、見守りで最後に職員が一部介助で仕上げを行わせていただいている。義歯の方には就寝前に洗浄剤を使用させていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々のトイレ時のサインに注意しながら気持ちよく排泄していただけるように支援している。また、身体機能に応じた介助、排泄用具(パッド他)等も適時適切な方法で検討している。座位が保てる利用者様には、トイレやポータルトイレを使用いただき、出来るだけ自然な形で排泄いただけるよう支援している。	排泄チェック表を活用し、個々のトイレ時のサインに注意しながら気持ちよく排泄していただけるように支援している。また、身体機能に応じた介助、排泄用具(パッド他)等も適時適切な方法で検討している。座位が保てる利用者様には、トイレやポータルトイレを使用いただき、出来るだけ自然な形で排泄いただけるよう支援している。	昼夜おむつを使用している利用者は1名である。他の利用者は、パット、リハビリパンツなどその人に合った排泄用品を利用し、必要な時に声かけトイレ誘導している。トイレは、車椅子利用者にも十分な広さがあり使いやすい。夜間については安眠の為ににおむつを使用している利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らず、自然排便を促すような食べ物、飲み物の提供を心掛けています。個人的に乳製品を購入されている方も多くいます。腸の働きを良くするために散歩等で体を動かしていただくことも試みています。	出来るだけ薬に頼らず、自然排便を促すような食べ物、飲み物の提供を心掛けています。個人的に乳製品を購入されている方も多くいます。腸の働きを良くするために散歩等で体を動かしていただくことも試みています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	なかなか自由に入浴をしていただくことは難しい状況ですが、事前に入浴のあることをお伝えし承していただいています。職員とマンツーマンの時間が持てる場なので、会話をしながら、楽しく湯浴できるよう支援しています。	なかなか自由に入浴をしていただくことは難しい状況ですが、事前に入浴のあることをお伝えし承していただいています。職員とマンツーマンの時間が持てる場なので、会話をしながら、楽しく湯浴できるよう支援しています。	日曜日以外は毎日午後入浴しているが、基本的には一人週2回の入浴である。浴槽は、個浴と中間浴槽の二つがある。入浴を拒否した利用者も強制せずに対応して今は入浴出来ている。入浴後の皮膚の保湿には気をつけている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( あさがお )	ユニット名( コスモス )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を多くし、安眠につながる支援を行っている。個々の睡眠パターンを把握しながら排泄介助のタイミングを決めている。また、物音、照明等にも注意を払っている。	日中の活動を多くし、安眠につながる支援を行っている。個々の睡眠パターンを把握しながら排泄介助のタイミングを決めている。また、物音、照明等にも注意を払っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方箋の内容を職員が十分に理解し、把握できる様、表を作り綴りにしていつでも確認できるようにしている。服薬はマニュアルに沿って職員が利用者様の名前、薬の確認、服用終了までを確認する。薬の管理は看護師が行っている。	個々の処方箋の内容を職員が十分に理解し、把握できる様、表を作り綴りにしていつでも確認できるようにしている。服薬はマニュアルに沿って職員が利用者様の名前、薬の確認、服用終了までを確認する。薬の管理は看護師が行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担によって、本人の得意とする分野を発揮していただき、生きがいや張りのある生活を送ってもらえるよう職員が働きかけをしている。(洗濯物干し、食事前の準備、食事前のあいさつ、花壇・畑の水やり等)	役割分担によって、本人の得意とする分野を発揮していただき、生きがいや張りのある生活を送ってもらえるよう職員が働きかけをしている。(洗濯物干し、食事前の準備、食事前のあいさつ、花壇・畑の水やり等)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候・季節に応じて屋内外での散歩を多くの利用者様が、定期的楽しんでます。また、さくらんぼ狩りやお花見・紅葉狩等々の企画をし、希望される方の外支援をしています。	天候・季節に応じて屋内外での散歩を多くの利用者様が、定期的楽しんでます。また、さくらんぼ狩りやお花見・紅葉狩等々の企画をし、希望される方の外支援をしています。	気候のよい時は、散歩の機会を作っている。ハッピーパークをひと回りしたり、敷地内の小規模多機能型ホームに立ち寄り利用者の方々との交流の機会をもっている。事業所の周りの桃やサクランボ等から季節を感じてもらっている。また、家族と外泊する利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の出来る方には、その都度必要な時に必要額をご自身の財布で所持している。近隣のお店に買い物に行かれる際、ご自身で支払いをしていただくようにしている。	自己管理の出来る方には、その都度必要な時に必要額をご自身の財布で所持している。近隣のお店に買い物に行かれる際、ご自身で支払いをしていただくようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各部屋に電話があり、自由に使用していただくことが出来ます。	各部屋に電話があり、自由に使用していただくことが出来ます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは季節を感じられるよう、皆さんで作ったカレンダーや飾りで装飾しています。また、書道の作品や外出や行事等で撮った写真も飾り、話題づくりのきっかけになっています。畳スペースやソファがあり、お茶を飲むときなど自由に使用してもらっています。	フロアは季節を感じられるよう、皆さんで作ったカレンダーや飾りで装飾しています。また、書道の作品や外出や行事等で撮った写真も飾り、話題づくりのきっかけになっています。畳スペースやソファがあり、お茶を飲むときなど自由に使用してもらっています。	玄関を挟んだ2つのフロアは、それぞれが広く食事のテーブルがゆったりと置かれている。ピアノがあり利用者が時々弾いているという。リハビリの為の平行棒も置かれている。庭にはあずま屋があり、散歩の時などくつろげる場所となっている。浴室もトイレも広くてきれいに清掃されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビで好きな相撲や娯楽番組を観て過ごしていただいたりしています。ご家族が来られた際には、居室でゆっくり過ごしていただいたり、ご家族が大勢の時は地域交流室を自由に使っていただけるようにしています。	テレビで好きな相撲や娯楽番組を観て過ごしていただいたりしています。ご家族が来られた際には、居室でゆっくり過ごしていただいたり、ご家族が大勢の時は地域交流室を自由に使っていただけるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への愛用品の持ち込みは、危険な物でない限り自由にお持ちいただいています。ご本人が安心した生活が送れるよう、その方らしいお部屋になるように支援しています。ご家族、お孫さん、曾孫さんの写真が多く飾られている部屋もあります。	居室への愛用品の持ち込みは、危険な物でない限り自由にお持ちいただいています。ご本人が安心した生活が送れるよう、その方らしいお部屋になるように支援しています。ご家族、お孫さん、曾孫さんの写真が多く飾られている部屋もあります。	大きな備え付けの戸棚と引き出しがあり、その中に必要な生活用品がほとんど収納出来ている為か、どの部屋も整頓されている。直通電話の設置もある。その他テレビや好きな調度品が自由に持ちこまれてあり、その人らしい部屋作りが出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁や廊下、また、トイレ・浴室にも手すりが設置してあり、歩行に少し不安のある方も安心して歩いていただけるような対策をしています。ホーム内には、平行棒が設置してあり、日常のリハビリとして歩行訓練に使用しています。	壁や廊下、また、トイレ・浴室にも手すりが設置してあり、歩行に少し不安のある方も安心して歩いていただけるような対策をしています。ホーム内には、平行棒が設置してあり、日常のリハビリとして歩行訓練に使用しています。		